

# 複数武道種目授業

## 実践の紹介

### 「武道推進モデル校」事業を活用した 複数種目（柔道・なぎなた）の実践

鹿児島県南九州市川辺町は、鹿児島市の南西に位置し、国指定の伝統的工芸品である川辺仏壇が有名である。武道については、川辺町はなぎなたが盛んであり、県立川辺高校なぎなた部は全国大会で上位に進出する実力を持っている。

本校は、昭和58年に町内の5中学校が統合して現在の川辺中学校（生徒数278人）となった。令和2年度は、本県の「たくましい、かこしまっ子」育成推進事業協力校」として、子どもの体力向上を目指した取り組みを学校全体で行っている。

令和元年度、本校はスポーツ庁の委託を受け、「武道等指導充実・資質向上支援事業」の「武道推進モデル校」になった。柔道に加え、なぎなたを行った武道授業の実践を紹介する。

鹿児島県南九州市立川<sup>かわ</sup>辺<sup>べ</sup>中学校

教諭 江籠平将人  
同 西田智香



川辺中学校の校舎







	[Redacted]			
	[Redacted]			
	[Redacted]			
	[Redacted]		[Redacted]	
	[Redacted]			